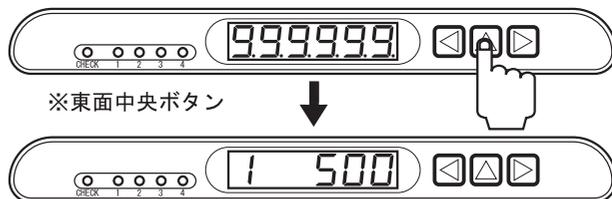


0点リセットの方法 Fタイプ

◆点数の誤表示が、度々出るような時は「0点リセット」をして下さい。
 リセットの方法は2種類ありますので、ご自分にあった操作をお試し下さい。また、操作方法によっては「0点」にならない場合もありますので、必ず「マニュアル操作」をして下さい。
 *「0点リセット」をする時は、必ず点棒を点棒ケースごと抜き取って下さい。

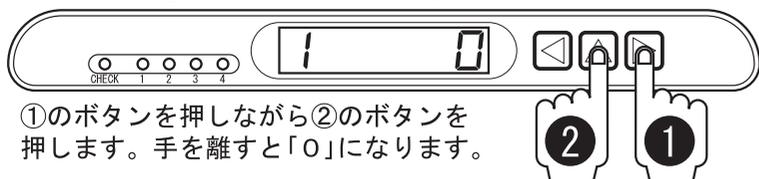
マニュアル操作

電源投入時に東面中央ボタンを押すと調整モードに突入します。右図は1000点棒以下の点棒ケースに5000点分の点棒が収納されている状態です。「0点リセット」の作業はこの状態にしてから行います。

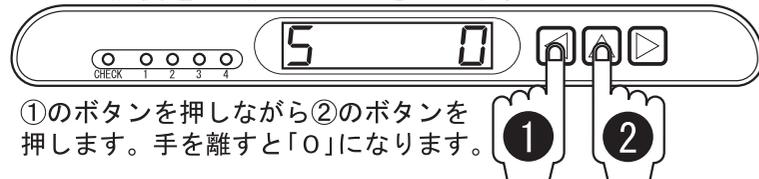


点棒を全て点棒ケースごと取除きます。

◆1000点側を「0点リセット」します。



◆10000点側を「0点リセット」します。



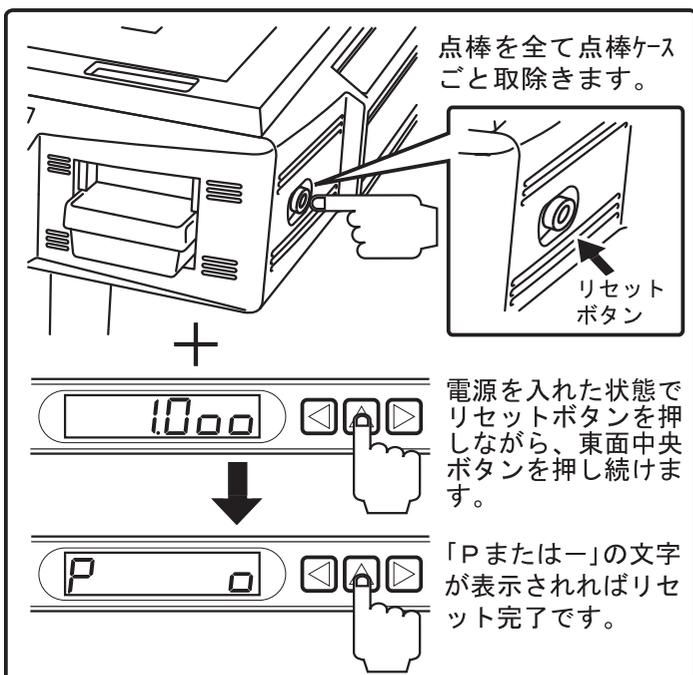
作業終了後は電源スイッチを入れ直して下さい。

お知らせ

左図の手順は一面分です。全ての面に0点リセットが必要な時は、この作業を全ての面で行う必要があります。

リセットボタンでの操作

リセットボタンを使うと、全面を効率よく0点リセットすることができます。



リセットボタンは枠の正面から見て向かって右側にあります。パル、テンパルタイプも同じく右側にレイアウトしています。(図はフェニックスタイプです。)

注意!

システムの構造上、マイナス方向の表示はできません。表示が0点でも0点リセットをして下さい。



バリューFタイプのリセットスイッチは枠の内側にレイアウトされています。(左図参照)リセットスイッチの操作は天板を開ける必要があります。操作をする時は必ず天板ストッパーを使用して下さい。操作は上図手順と同じです。